

### H30年度苦情解結果改善報告①

#### ■苦情内容

申請日 2018年6月19日

内容 5才児男児への体育教室での講師の指導中の注意の仕方について

要望 -

第三者委員会への報告要否

否

保護者と保育園との円満な話し合いによる解決

#### ■解決・改善

解決日 2018年6月25日

経過、結果 (1) 園長、講師、保護者（父親）の3人で話し合う。

- ① 講師より当日本人の体育教室での参加の様子について説明し男児に数回口頭で参加態度について注意を与えたことも説明する。
- ② 父親から注意を聞かないときは、本人に納得できるように指導してほしい。これからもよろしく願う旨の発言がある。
- ③ 園長から「集団生活では安全な行動ができるように保育士も日頃から留意しているので、事故等がおこらないように一人一人の支援、援助に気をつけたい」とまとめる。

(2) その後、本人は体育教室でも笑顔で元気に楽しく参加している。

## H30年度苦情解結果改善報告②

### ■苦情内容

申請日 2018年8月29日

内容 2才児男児へのクラス担任の保育時の注意指導のあり方について

要望 -

第三者委員会への報告要否

否

保護者と保育園との円満は話し合いによる解決

### ■解決・改善

解決日 2018年8月30日

経過、結果 (1) クラス担任、主任保育士、保護者(両親)の4人で話し合う。  
① 2才男児の父親が朝登園して、保育室に2才男児を連れてきて「耳たぶが赤くなっているので本人に状況を尋ねたら、先生からつままれた」と言っているが本当かと聞かれた。  
クラス担任はそんな事実はないと応答し、主任保育士が耳たぶをよく観察したら「トビヒの症状みたいなので小児科医院で診察を受けてください」と伝えた。診察の結果も「トビヒ」であつたらしくその後は何日も苦情は言ってこられなかった。

### H30年度苦情解結果改善報告④

#### ■苦情内容

申請日 2018年10月15日

内容 5才児男児2名の諸行事への参加のあり方について本人の能力に応じた参加のあり方について

要望 -

第三者委員会への報告要否

否

保護者と保育園の園長、主任保育士、クラス担任との話し合い及びや否や特別支援学校の担任教諭の助言による解決

#### ■解決・改善

解決日

経過、結果 (1) 園長、クラス担任、主任保育士、保護者で話し合う。

① 秋の運動会では徒歩競歩やダンス等には参加するが、組体操や器具を使う団体競技については危険も予想されるので参加を控えるということであったが、親としては残念な気持ちもあった。

② 卒園するまでの残りの対外行事にも参加させてほしい。また園の生活発表会等には是非参加してほしい。

上記のような要望の話し合いがなされたので、保育園としては是非全てに参加させたいと考えていることを伝えた。特別支援学校の2人を担任しておられる先生にも来園してもらい、いろいろ助言を頂いた。

③ その後、対外的な地区の文化祭の合唱やダンスの発表にも参加したり、12月初旬の園内生活発表会では5才児クラスの出場種目に参加してくれた。

④ 保護者からの苦情は10月15日以来保育園にはきていない。